

## 1. 三位一体の神様    2. 10 の流れ    3. 10 の土台    4. 5 つの確信    5. 9 つ 流れ    6. 62 の生活    7. 教会・礼拝、神殿

## 1. 三位一体の神様

私は誰か？私たちは目には見えないが「霊的な世界の背景」を持っている存在です。。今も父なる神様は、正確なみことばを成就され、御子なる神様は、すべてののろいを解決する救いの働きを成され、聖霊なる神様は、霊的な力で働いておられます。これから、すでに私に与えられた素晴らしい霊的な「身分と権威」を、実際に味わう霊的「サミット・タイム」を持っていれば良いのです。

## 2. 10 の奥義

私はどこにいるのか？「10 の奥義」は、失敗するしかない間違った刻印をいやし、どこでも必ず生き残り、勝利する「サミットの位置」と「サミットの姿勢」を準備する旅程のことです。答えよりもっと重要なことは、霊的な状態です。正確な答えはその後に現れるからです。

## 1) 霊的独立(みことば)

衣食住や現実的な環境に騙されずに、どこでもみことばの中で生き残る霊的独立を準備する必要があります。

## 2) 霊的事実(祈り)

最も重要な祈りは、神様がともにおられること(WITH, Immanuel, Oneness)を味わうことです。この時、神様が与えてくださる CVDIP が祈りの課題となり、現実と事実、真実を超えて霊的事実と神様のご計画をみるようになります。

## 3) 逆発想(神様のものに集中)

神様が準備された答えは、ほとんど誰も奪うことができない反対側にあるので、逆発想を通して「神様のもの」に集中することです。

## 4) シナジー効果 (24 時、生かす現場)

多くの人を生かす方に方向を向け、どこに行っても祈り、みことば、学業、職業 24 時を味わうと、すべてのことを生かす「シナジー」効果を発揮します。

## 5) 危機は機会 (25 時、神の国)

神の国の御座の背景が、今この地に成し遂げられる 25 時の神の国のことを見る時、危機が機会であることを悟るようになります。

## 6) 無競争 (戦わずに勝つ力 / 「私」に臨まれる神の国)

他の人を生かし、危機を機会として味わえば、競争する必要がありません。危機を選んだため、競争相手も、戦う対象もないからです。戦わずに勝つ力を養う「無競争」のサミット姿勢(7 大旅程は、「私」に神の国が臨まれる奥義です。)

## 7) 再創造 (誰も妨げることができない力 / 「出会い」を通して臨まれる神の国)

この時から誰も妨げることができない、ただ、唯一性、再創造が現れます。誰も妨げることができない力である「再創造」のサミット姿勢は、「出会い」を通して神の国が成される奥義です。

## 8) サミットの座 (指導者の学び / 「現場」に臨まれる神の国)

最も低い所から最高に挑戦する「サミットの座」に方向を合わせて、指導者の勉強をするサミット姿勢は、「現場」に神の国が成される奥義です(現場の霊的な王)

## 9) 荒野、砂漠、荒れ地 (No → Every / 「職業」を通して臨まれる神の国)

神様はこの時代の死んだ荒野、砂漠、荒れ地に派遣され、生かすことを願われています。「死んだ所」を生かすサミットの姿勢は、「職業」(学業)に神の国が臨まれる奥義です。

## 10) 絶対理由 (いつも質問、なぜ? / 「本業」に臨まれる神の国)

神様の「絶対主権」の下、「絶対計画」を見れば「絶対契約」がわかります。すると「絶対旅程」と「絶対目標」はついて来るようになります。そのために神様の「絶対理由」について常に質問するサミットの姿勢は、「本業」に神の国が成される奥義です。

## 3. 10 の信仰の土台

1) 神様の主権 (父 / 救いの働き / 不信仰のいやし): 創造主である神様は、自らおられる方であり、世界の基の置かれる前から永遠まで、歴史と時代を掌られる統治者であられます。

2) 神様の方法 (子): 神様が創造された時代の歴史の主人公は、イエス・キリストです。

3) 神様の力 (聖霊): 今も働かれる聖霊は、神様の力です。

4) 神様のみことば (聖書): 聖書は生きておられる神様のみことばであり、神様の確実な保証書です。

5) 神様の神殿 (聖徒): 神様の救いを受けた私は、聖霊が内住している神様の神殿として、最も価値のある存在です。

6) 神様の計画 (現場): 私がいるすべてのポジション、場所、いる所は、神様が働かせるために派遣された宣教地です。

7) 神様の統治 (生死禍福の主管者): 神様は私のすべての生死禍福を掌られ、その歩みを神様が導いておられます。

8) 神様の摂理 (限られた人生): すべての人は、必ず一度は死ぬ、限られた人生であり、神様はその人生の最後までご存じです。

9) 神様のさばき (来世): 死後には裁きがあり、来世(天国と地獄)に行きます(この地では天国の背景の中で、御座の祝福が与えられ導かれます)。

10) 神様の報い (伝道者): 信仰生活の結論は、死んでいく者を生かす、ただ福音を伝える「伝道者の生活」をすることであり、このことのために献身すると、必ず天の報いがあります。

## 4. 5 つの確信

1) 救いの確信: 誰でもキリストを信じる者は、神の子どもとされ、救われたことを確信します。

2) 答えの確信: 神様の子どもがキリストの御名で祈る時、必ず答えられることを確信します。

3) 罪の赦しの確信: キリストの十字架の恵みで、罪と死の原理から永遠に解放されたことを確信します。

4) 勝利の確信: キリストの権威によって、自分、世の中、サタンと戦って勝つ、勝利を確信します。

5) 導きの確信: 神様の子どもとなった私を、聖霊が最後まで責任を持って導かれることを確信します。

## 5. 9 の流れ

なぜしなければならないのか？個人や家系だけでなく、すべての組織と国には何らかの形で、大きくて強力な流れがあります。私たちが聖霊の導きを受け、霊的な疎通をすべき理由は、この中の間違った霊的な流れを変えるためにです。

1) 高さ、深さ、広さ - 専門性(情報)についての疎通

偏見を持って断片的に見るのではなく、広さと高さで深さを考慮しなければなりません。

2) 上、下、横 - 人間関係についての疎通

同時に上、下、左右にいる、ついて来る人、引っ張っていく人、ともに歩んでいく人を配慮する必要があります。

3) 過去、現在、未来 - 時刻表についての疎通

このような人は、過去と現在と未来を繋ぐことにより、福音で世界を生かす、真の霊的な疎通をすることができます。

## 6. 62 伝道者の生活 \*裏面参照

## 7. 教会(礼拝 / 神殿)

結論的に、すべてのことが教会の講壇のみことばと繋がります。これは驚くべき人生の変化です。これからは、霊的に苦しんでいる人たちを救い出さなければなりません。また行く所々、暗やみの文化を崩し、光の経済を回復しなければなりません。これらのことは、私たちでなければできないことなので、絶対逃してはいけません。

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>1) 21 生活の本質-なぜ 21 伝道者の生活なのか? すでに創 3 章、6 章、11 章-刻印、根、体質になっているから</p> <p>◆始まり(使 1:1,3,8)</p> <p>①使 1:1(ただキリスト) ②使 1:3(神の国) ③使 1:8(ただ聖霊)</p> <p>➢すべてをここから見つけ出す。確信を持って契約を握って始めれば、半分以上はすでに勝った状態から始めることである</p> <p>◆12 生活の方法</p> <p>④天命(私、私のもの、私の現場) ⑤召命 ⑥使命 ⑦当然 ⑧必然 ⑨絶対 ⑩一心 ⑪全心 ⑫持続 ⑬ただ ⑭唯一性 ⑮再創造</p> <p>◆神様がくださる答え→ ⑯24 時 ⑰25 時 ⑱永遠</p> <p>➢ 24 時(All in-私のもの)、25 時(御座のカ-私の方法)、永遠(永遠な作品-私のローマ 16 章)</p> <p>◆目標(ガラ 2:20)</p> <p>⑲刻印(キリスト) ⑳根(神の国) ㉑体質(証人)</p>                                                                                                                                   |
| <p>2) 7 つのサミットの道</p> <p>(1) みことば(タルムード、シェーマ、トーラー)-福音のみことばと RT7 人の人生ストーリーをもってタラントを見つけ、知性を整える。</p> <p>(2) 神の御働き(偉人)-RT7 人を動かした神の御働きを見させ霊性を整える。</p> <p>(3) アイデンティティ(3 つの祭りの体験)-使 1:1,3,8 を個人化、具体化させ、信じる者のアイデンティティを体験する。</p> <p>(4) 礼拝勝利(安息日)礼拝に勝利する私の方法を見つけ、6 日の勝利を味わう。</p> <p>(5) ただ(成人式/専門性)毎日、小さなことから「ただ」を見つける(ヨハ 15:16、ピリ 1:6、ピリ 3:1-21、ピリ 4:13、ピリ 4:19)。</p> <p>(6) 唯一性(会堂/社会性)-神様が備えられた「唯一性」の答えを見つけて味わう。</p> <p>(7) 再創造(ロッジ/時代性)-神様が私のために備えられた私の現場と「再創造」の祝福を味わう。</p>                                                                                                                     |
| <p>3) 9 つのポイント</p> <p>人間の偏見、理念、間違った世界観を越えて変える、9 つのポイントをもって人と現場を見る</p> <p>(1) 広さ、高さ、深さ→情報 (2) 上、下、左右→人間関係 (3) 過去、現在、未来→時刻表</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| <p>4) 20 の聖書的な伝道戦略</p> <p>聖書的な伝道戦略は私を生かし、教会を生かし、現場を生かし、文化を生かし、政治を生かすことである</p> <p>(1) 5 つの基礎→唯一性、5 つを味わう</p> <p>① 福音と私の唯一性(タラツパン、使 1:1-14) ② 出会いと唯一性(チーム使役、使 2:9-11)</p> <p>③ 生活と唯一性(MH、使 18:1-4) ④ 業の唯一性(専門使役、ロマ 16 章) ⑤地域と唯一性(地教会、使 13 章、16 章、19 章)</p> <p>(2) 5 つの合宿→神様が約束されたキャンプ(共に、With)の生活を味わう</p> <p>⑥ 基本合宿(使 2:1-4) ⑦チーム合宿(使 2:9-11) ⑧現場キャンプ(使 2:46-47) ⑨専門キャンプ(使 18:1-4)</p> <p>⑩伝道集中キャンプ( I コリ 16:19、地教会)</p> <p>(3) 5 つのシステム→現場を生かすシステムを作る ⑪伝道学校 ⑫伝道神学院 ⑬訓練院 ⑭伝道合宿 ⑮集中伝道</p> <p>(4) 5 つの未来→福音で暗闇を食い止め、流れを変える ⑯専門人 ⑰文化人 ⑱産業人 ⑲癒し ⑳RT の集い</p>                                       |
| <p>5) 5 つの祈り(個人化)の原理</p> <p>(1) 感謝(傷)→救いの感謝、霊的祝福の感謝(神の子どもの 7 祝福、6 権威)、共におられることに感謝(ヨハ 4:24、マタ 28:20)</p> <p>神様は、私たちが 100 の過ちを犯したとしても、1 つだけでもよくできれば祝福されるが、人は、100 をよくしていても、1 つだけでも過ちを犯すと裏切ることがある。傷はサタンが入り込む最も近道である。</p> <p>(2) みことば(世のもの)→福音の流れを見ながら、神のみことばに黙想、暗唱し、書き取りをしてみればみことばの流れが見えてくる。そのとき、世のものを通して破壊されてしまった私の霊的な状態が回復される。</p> <p>(3) 集中(分裂、執着、中毒)→神様に集中するとき、私の霊的システムが立てられ、刻印、根、体質が変わるようになる。このとき、24 時、25 時、永遠の答えを味わえるようになる。</p> <p>(4) 実際の癒し(破壊)→現場で実際の答えが見え、福音を選ぶ私の霊的状態が変わり、個人が癒される答えが来る。</p> <p>(5) 未来(不安)→みことば成就の働き、神様のみことばと私の生活が一致し、危機の中で見えてくる答えを通して未来が見え、みことばと私の生活がバランスを保つようになる。</p> |